

進路だより ～道～

No.2

10月18日(火)

高校入試のしくみ



1 私立高校の入試の区分について

○推薦入試

それぞれの高校が決めている資格・基準を満たすと受験することができる入試です。基準は高校によって様々ですが、多くの高校では中学校の成績を基準にしています。試験は英語・国語・数学の3教科や面接、作文などが実施されます。推薦入試には、単願推薦・特技推薦など、学校によってさまざまな名称・方法があります。なお合格にあたり、その高校への入学が原則として条件となっています。

※推薦の資格・基準の例 A高校の場合

資格 令和5年3月に中学校卒業見込みの者で、中学校長が推薦し本校を第一志望とする者。

基準 【A推薦】下記の項目を全て満たす者。

- ・特進Aコースへの入学を希望し、合格後「学業奨学生チャレンジ試験」を受験する意思のあるもの。
- ・3年次1学期(前期)または2学期までの評定合計が5教科22以上。
- ・中学3年間の欠席日数が10日以内。(3年次11月末まで)

【B推薦】進学Bコースを希望し、中学校3年間の欠席日数が30日以内(3年次11月末まで)であり、下記項目のいずれかに該当するもの。

- a: 3年次1学期(前期)または2学期までの評定合計が5教科で16または9教科で29程度の者。
- b: 3年次4月～11月まで無遅刻・無欠席の者。
- c: 特技選抜部※①への入部を希望し、3年間努力できるもの。
- d: 一般の部活動※②への入部を希望し、3年間努力できる意思のあるもの。
- e: 課外活動における顕著な成績(県以上の大会において銅賞以上またはそれに準じる成績)を収めた者。
- f: 資格を有しているもの。
- g: 生徒会本部役員(会長・副会長・書記・会計)、学級委員長、部活動の主将または部長を経験した者。
- h: 校外において顕著な活動を収めた者。(各分野において顕著な実績を認められた者)
- i: 人物的に優良で、本校に対する適正、興味関心および学習意欲を有する者。

※①〈特技選抜部〉硬式野球部(男)、柔道(男女)、陸上競技(男女)、バスケットボール(男女)

※上記部活動は本校顧問との事前面談が必要となります。

※②〈一般の部活動〉

- ・運動部・・・ラグビーフットボール(男)、ハンドボール(女)、サッカー、硬式テニス、バレーボール(男女)、バドミントン(男女)、弓道、チアダンス、応援
- ・文化部・・・吹奏楽、写真、放送、料理、茶道、ボランティア、天文、新聞、ESS

○一般入試：単願

その高校が第一志望で、どうしても入学したい人が受験する方法です。併願で受験する場合に比べ合格しやすいというメリットがあります。ただし、単願で合格した場合は、その高校に原則として入学するという志願方法です。

「合格したら原則として入学します！」

○一般入試：併願

第一志望校（本命校）が別にある場合でも、複数受験することができます。

例：私立高校3校（本命校1校＋併願校2校）受験

私立高校（併願校）2校＋県立高校（本命校）1校など

茨城県私立高校 インターネット出願について

茨城県のほとんどの私立高校がインターネットでの出願受付を導入しています。インターネット出願は、パソコンだけでなく、タブレットやスマートフォンなどからも手続きが可能です。また、手続きの中で書類の印刷が必要となりますが、ご家庭にプリンターなどの印刷環境がない場合でも、コンビニでの印刷が可能です。手続き期間の日程については、高校によって異なりますので、各校の発表する「令和5年度入学試験要項（生徒募集要項）」をご確認ください。（各高校のホームページでも公開されます。）

インターネット出願の流れについて

各学校の募集要項内に

①出願準備期間

②出願登録期間

③出願期間



といった手続きを行う期間や必要書類の記載があります。（表になっている学校もあります）

出願準備期間内に必要事項を入力していただき【申込内容確認書】を印刷し、事前に配付する赤い袋に入れて生徒に持たせてください。事前にお預かりしている【住所・氏名等確認表】にて、調査書に記載する住所と相違ないかを確認させていただきます。

11月の3者面談 流れについて

11月の3者面談では進路については以下のことを確認、相談させていただきたいと思います。

- ①私立受験校の確認
- ②推薦・単願の確認
- ③県立志望校の確認
- ④県立特色選抜希望の確認
- ⑤私立出願手続きの確認

よろしくお願いたします。

